

那企企第 188 号  
平成 26 年 2 月 14 日

沖縄県知事  
仲井眞 弘多 様

那覇市長 翁長 雄志



大型 MICE 施設的那覇市への建設誘致について（要請）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

沖縄県におかれましては、昨年の「MICE 誘致強化戦略・大型 MICE 施設のあり方調査報告」を受け、施設建設に向けた具体的な検討を進めているものと伺っております。

当該調査報告で示された施設の内容、建設地については、本市としてもたいへん大きな関心を持っております。

ご承知のとおり、本市は沖縄県を代表する商業・観光都市であり、国際通りを中心とした中心市街地や新都心地域には様々な企業、商業施設、大小宿泊施設、官公庁が立地集積して、ビジネスの中心地となっております。また、市内には、琉球王国のグスク及び関連遺産群として世界遺産に登録された「玉陵」や「識名園」、琉球王朝文化を象徴する首里城などの貴重な歴史、文化遺産が数多くあり、沖縄の中心的な観光都市ともなっております。

市内への交通アクセス面においても、那覇空港と都市モノレールで結ばれている他、国内屈指の大型クルーズ船受入港となっている那覇港には、新たなターミナルビルが近く供用開始する運びとなっております。

航空輸送や海上輸送による東アジアを中心とした物流についても、国際物流拠点産業集積地域に位置付けられた空港近接区域及び那覇港後方区域へ国際物流関連施設の建設が進められており、本市は、県が推進する大型 MICE 施設の立地において、求められている種々の要件を十分満たしている最適地であると考えております。

その施設の建設候補地として、本市では「那覇軍港」が挙げられるものと考えております。

検討可能な駐留軍用地跡地として「那覇軍港」を位置づけ、県と本市が、国と連携して取り組むことで、共同使用の形態により短期での整備が可能になるものと考えます。

空港と中心商業地域に近接した広大な軍港敷地は、大規模な MICE 関連施設の建設に適し、集客機能や MICE 関連ビジネスと他の関連施策との相乗効果が大きく発揮できる県内最優な地区となり、今後の沖縄の振興発展に大きく寄与できるものと確信しております。

県都・那覇市は、沖縄の政治・経済・文化の中心として、今後とも沖縄の振興発展を牽引していかねばならないと考えております。

以上の観点から、県の整備する当該大型 MICE 施設につきましては、那覇市を建設候補地とするよう要請いたします。